

# 野付の千島桜治療業務委託実施報告書

2022 年 11 月 30 日 樹木医 金田正弘

## 1. 春の治療処置（5 月 29 日～6 月 4 日）

### （1）着工前、完成



着工前（駐車場側）



完成



着工前（西側）



完成



着工前（東側）



完成

## (2) 根系施肥処置

### ① 土壌改良資材、肥料



土壌改良資材等



施肥資材

土壌改良資材は、ピートモス、くん炭、パーライト、鹿沼土、火山礫、を用意しました。

肥料は、イーグル（高度化成肥料）フジミンフォレスト（土壌活性剤）、上記土壌改良資材を混合した混合土を使用します。

### ㊤ 混合土の作成



土壌改良資材



くん炭入れ



鹿沼土入れ



パーライト入れ



各資材の混合状況



混合土作成

火山礫を主体としてピートモス等各種資材を入れ、よく混ぜあわせ混合土を作成します。

⑨根系周辺の施肥処置



穴あけ作業（金棒使用）



フジミンフォレスト施用



混合土施用



イーグル（高度化成肥料）施用

外柵周辺に金棒で穴をあけます（金棒使用 15cm 内外）。フジミンフォレスト（固形）を入れ、混合土で充填します。イーグル（高度化成肥料 15-15-15）を 15g 内外散布して施肥処置とします。

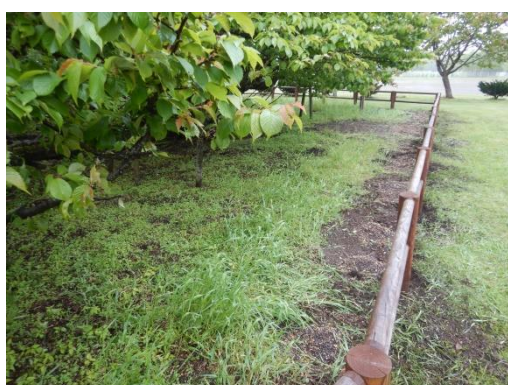
#### ㊦施肥処置の完成



駐車場側（東～西）



駐車場側（西～東）



校舎側（西～東）



校舎側（東～西）

### (3) 枝切り処置



枝切り状況



切口の保護剤塗布

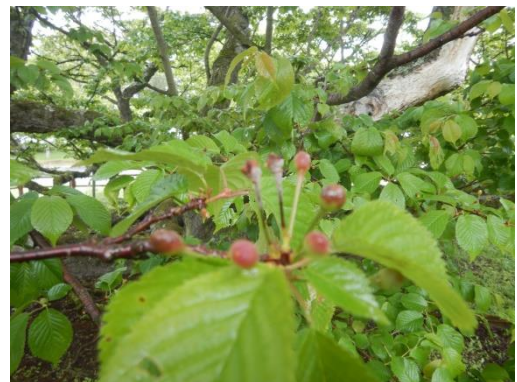
柵近くに伸びた枝先は、シカの食害と思われる症状が発生していました。切詰め枝切りを実施し切口には、保護剤（トップジンMペースト）を塗布しました。樹冠部のてんぐ巣病被害枝は、若干程度見られ切除しています。又、からみ枝、不用枝の枝抜き剪定も実施しています。

### (4) 薬剤散布処置

#### ④幼果菌核病の発生



幼果菌核病（葉ぐされ症状）



実ぐされ症状

治療開始しはじめの頃からサクラ類幼果菌核病（*Monilinia kusanoi*）が発生しています。葉が黒く萎れる（葉ぐされ症状）及び果実に灰白色の粉状物が発生する症状が発生しています。発生数は、少なくなりましたが、根絶できない樹病といえます。

寒さ、風、の強い場所、早春咲く桜類に症状が発生しやすい傾向にあるようです。以下防除の方法です。

## ㊤薬剤の散布



薬剤散布器 1 式



散布状況



薬剤散布状況

ベフラン液剤 1000 倍液を展着剤（ダイン）と共に動力噴霧器で散布しました。散布は、6 月 4 日（土）学校の休日に実施しています。

## (5) 春の野付千島桜

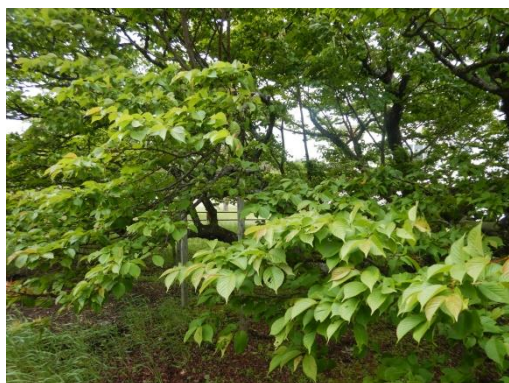
### ④ポット苗の作成



ポット苗の作成

野付の千島桜（*Cerasus nipponica* var. *kurilensis*）は、多くの花を咲かせ、多くの果実を付けます。根系域には、とても多くの実生苗が発生しています。ほんの一部ですがポット苗に移植しました。学校関係の皆様にご利用してもらえるよう提供しています。

## ㊤緑葉の展開



6 月始の新しい緑葉

6 月始は、新しい葉が展開しています。とても多くの緑葉が発生しています。旺盛な光合成をして、来年の花芽を形成してくれるでしょう。自身の幹枝も伸長することでしょう。

## ㊤5 月の開花状況



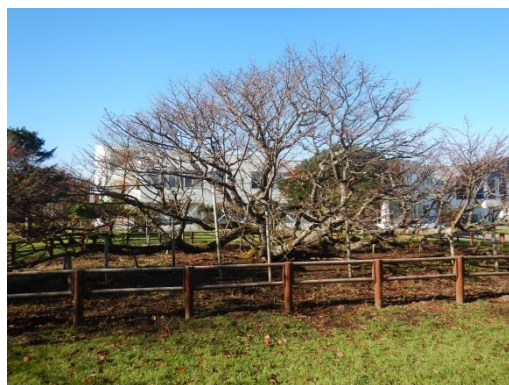
野付の千島桜の開花（5 月 12 日 野付小の校長先生提供）

## 2. 秋の治療処置（10 月 27 日～31 日）

### （1）着工前・完成



着工前（駐車場側）



完成



着工前（東側）



完成



着工前（校舎側）



完成

## (2) 除草



人力除草



## (3) 根系施肥処置

### ① 土壌改良資材



土壌改良資材、肥料

土壌改良資材は、ピートモス、くん炭、パーライト、鹿沼土、赤玉土、動物堆肥、火山礫を用意しました。

#### ㊤混合土の作成



ピートモス入れ



くん炭入れ



各種資材入れ



各種資材の混合



混合土の作成

各種資材を入れて、よく混合し混合土を作成しました。

#### ㊤簡易な施肥処置



フジミンフォレスト、イーグル資材



穴あけ（金棒使用）



フジミンフォレスト施用



混合土施用



イーグル（高度化成肥料）施用



施肥の完成

施肥対象箇所を除草し、金棒で3ヶ所穴をあけます（20cm 内外）。フジミンフォレスト（固形）を入れ、混合土を充填します。この上にイーグル（高度化成肥料 15-15-15）を施用し完成です。

㊦アースオーガ使用の施肥処置



穴あけ（アースオーガ使用）



アースオーガによる穴（拡大）



穴あけの景観





混合土入れ



フジミンフォレスト入れ



イーグル入れ

柵の下の草を剝、アースオーガ（φ10cm、エンジン式）で深さ 70～80cm の穴あけをします。先に作った混合土を充填し、フジミンフォレスト及びイーグルを施用し完成です。

⑥施肥の着工前、完成



着工前（駐車場東～西）



完成



着工前（東側）



完成



着工前（東～西）



完成



着工前（東側）



完成



着工前（西側）



完成



着工前（西側）



完成

#### (4) 枝切り処置



枝切り状況



切口の保護塗布

樹冠内部の細枝は、かなり多くあります。毎年、枝抜き剪定を少しずつ実施しています。幼果菌核病被害枝もできるだけ見つけ切除しています。いずれも切口には、保護剤（トップジンM ペースト）を塗布しています。

#### (5) 枝の傷、腐朽部（サルノコシカケ）の処置

##### ①枝傷の処置



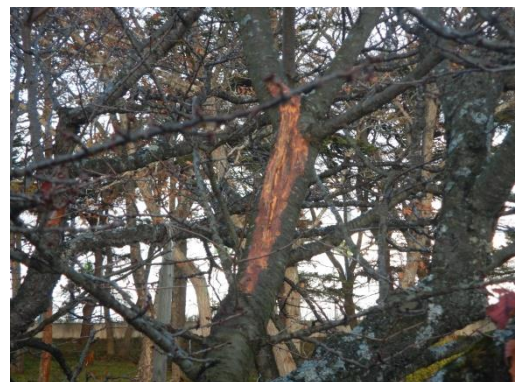
枝傷（着工前）



切削り整形



保護剤の塗布



完成

㊤枝に発生したサルノコシカケ類の処置



枝に発生したサルノコシカケ



切削り整形



保護剤の塗布



完成

枝の傷㊤は、過年度切除した太枝に当って付いたようです。又、その近くに白っぽいサルノコシカケ㊤が着生していました。表面の材部が腐朽しています。いずれも切削り整形し保護剤（トップジン M ペースト）を塗布しました。

(6) 薬剤散布



薬剤散布用具

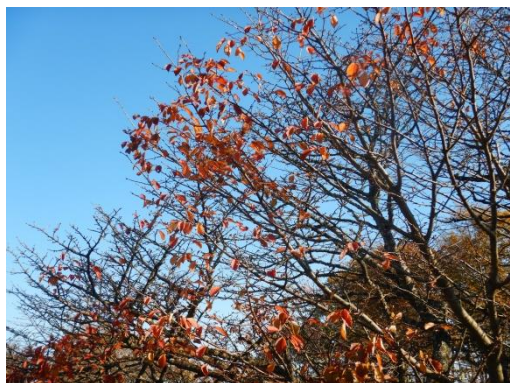


ベフラン液剤



薬剤散布状況

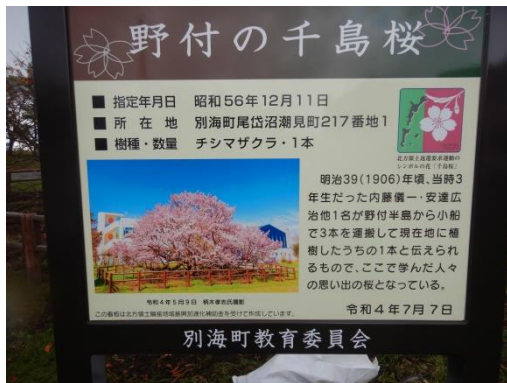
(7) 野付千島桜の紅葉



千島桜の紅葉（10月27日）

10月末の千島桜は、わずかに紅葉（オレンジ色の葉）が残っているだけでした。学校に聞いたところ、全体に美しく紅葉したようです。春の開花、その後の開葉、そして7～8月の緑葉と季節により生育が変化していきます。樹木が健全に生育していれば、秋10月綺麗に紅葉し、来年の花芽を形成し、落葉して冬を越します。来年（令和5年5月中旬）も良好な開花が期待できそうです。

(8) 看板



新設された案内看板

古くなった案内看板は、新設され、柵の外に設置されていました。多くの町民、道民の方々及び本州の観光客に見てもらいたいと思っています。それらに向けた、継続した維持管理処置実施に期待します。